

十勝・帯広地区 教育経営研究会

- 1 目的 北海道小学校長会・北海道中学校長会、及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、その解決の方途を法制研究の視点から探る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後援 北海道教育庁十勝教育局
十勝管内教育委員会連絡協議会
幕別町教育委員会
- 4 主管 十勝小・中校長会 帯広市校長会
- 5 日時 平成30年10月10日(水)
- 6 会場 幕別町百年記念ホール
- 7 参加者 十勝管内・帯広市小中学校校長会員他(150名)
- 8 日程

12:20～12:50	受付
12:50～13:20	開会式
13:20～14:10	全体会
14:20～16:30	分科会
16:30～16:40	閉会式

9 全体会

一般情勢報告

北海道中学校長会 事務局長 高橋 寿輔 氏

十勝・帯広地区からの質問・要望事項に対する回答

北海道小学校長会 対策部副部長 磯島 紀代恵 氏

北海道中学校長会 対策部幹事 庄司 直樹 氏

- ・小学校外国語活動の実施方法について
- ・いじめ防止基本法の改定と取組について
- ・プログラミング教育の実践について
- ・働き方改革と具体的な業務の削減について
- ・定年延長や管理職手当独自削減の今後の見通しについて

10 分科会

提言による協議と、「実践的な課題」について演習協議を行う。

(1) 小学校第一分科会

提言 新得町立新得小学校長 高瀬 悟史

提言の概要

学校評価を活用した「社会に開かれた教育課程」

- ア 課題解決に向けた取組について
- イ 成果と課題について
- ウ 今後の取組について

協議

- ア 学校評価を活用し、目標の重点化、共有化を行うことで「社会に開かれた教育課程」実現の取組を組織的に推進することができる。
- イ 自己評価アンケートの工夫改善をすることが、保護者・地域と学校の重点目標を共有する上で有益ある。
- ウ 地域人材等を生かしたカリキュラム・マネジメントの項目を教職員評価に盛り込む。

(2) 小学校第二分科会

提言 豊頃町立豊頃小学校長 中村 真也

提言の概要

小学校外国語活動及び外国語科の時数の取り扱い

- ア 授業時数を増やす取組、増やさない取組について
- イ 自校の取組について
- ウ 今後の取組について

協 議

- ア 校長会で長期休業の日数見直しを検討中である。長期休業を3日削減予定、余剰時数は42～43は最低でも必要というおさえをしている。
- イ 他市町村の実情も含め、情報交流できてよかった。自校では次年度、授業時数増を予定しており、個人的には年間205日は必要ととらえている。
- ウ 札幌市では、授業日数は増やさず余剰時数で対応する方向で検討している。

(3) 中学校分科会

提言 帯広市立川西中学校長 黒田 正則

提言の概要

学びを支える学校・家庭・地域の連携・協働体制

- ア 帯広市の取組について
- イ 各校・地区の取組について
- ウ 成果と課題について

協 議

- ア 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、より一層、学校は地域との連携・協働を進めていくことが重要である。これらの取組を学校経営に生かし、教職員の資質向上、家庭や地域の教育力につなげていく。
- イ 教育活動と教育計画のずれが生じる傾向にあるが、どのように対応しているかを交流した。
- ウ 特色ある学校支援体制づくりを行い、学校を核とした地域づくりを各校で積極的に推進していく。

11 閉会式

十勝教育局義務教育指導監・企画総務課長・教育支援課長から各分科会でご助言をいただき、分科会ごとに十勝小・中校長会副会長・事務局長、帯広市校長会事務局長の挨拶で閉会。